



毎月、地域でおもしろいことをしている
北区の団体や人に会いにいこう！
2月はどんな出会いがあるかなあ？



サポートたいゆり

太平百合が原地区で地域ボランティア活動を行う「サポートたいゆり」。
今回は、同団体の城川 静子さん、三上 郁子さんに、地域を支えるボランティア活動の魅力についてお話を伺いました。インタビューは札幌市立太平中学校2年生の3人です！



▲太平中学校の皆さん(手前)と「サポートたいゆり」のお二人でパシャリ！

問い合わせ先
「サポートたいゆり」事務局
(毎週水曜日13:30~15:30)
☎ 771-2728



「活動への思いを教えてください。」
とにかく「地域の役に立ちたい」「地域に必要な存在でありたい」という気持ちで活動しています。私たち自身も、地域の方に助けられながら生きてきたので、恩返しのもつもりです。



▲城川さん(右)、三上さん(左)
ボランティアの魅力を語ってくれました。



▲広いお庭の草むしりも手分けして行います。

「最後にメッセージをお願いします。」

ボランティア活動は「お金をもらえるわけではないの」と思う方もいるかもしれませんが、「得」はなくても「徳」が生まれます。活動を通して、周囲の方だけでなく、自分も幸せになります。

現在の協力員は9割以上が70歳以上です。はつらつと活動していますが、若い力を借りたいという気持ちがあります。さまざまな世代で協力して、地域を活性化したいですね。仕事や家事などの合間に、少しでも構いません。協力してくれる方、ぜひ一緒に活動しましょう！

「同団体について教えてください。」
太平百合が原地区社会福祉協議会のボランティア部会として発足した団体です。
地域にお住まいの方の「ちょっとした困りごと」を支援する活動を行っています。例えば、買い物代行や電球の交換などの無償で行うものから、草むしりや除雪といった有償の屋外作業まで行います。そのほか、地域の子どもたちへの絵本の読み聞かせや親子ゲームの運営など、子育てに関するボランティアもしています。

ですし、地域の皆さんと交流するおかげで、生き生きと生活できています。
「今後の意気込みを教えてください。」
地域にどんどん広報して行って、支援が必要な方に私たちの活動を届けたいです。また、「地域を良くしていきたい」という意思のある方はたくさんいると思いますので、そういった方を巻き込んで、活動を広げていきます。